



華麗で勇壮な舞と熱気に街全体が包まれた「YOSAKOIさせば祭り」(西海パールシーリゾート)

広報
No.649

させば



広報させば 編集長
「キューちゃん」

特集 新しくなった市のホームページ・ガイド 2~5p

今月の主な内容

- 年末年始の市の業務、余熱利用施設など 6~9p
- 市民の広場 10~11p
- 施設だより、イベント 12~13p
- 歴史散歩、カレンダー、テレホンガイド 22~23p
- 九じろうの取材日記 24p

12月
2004 December

PUBLIC RELATIONS SASEBO



旧宮村国民学校の防空壕の中で説明を聞く参加者(正面が教壇。机は最近持ち込まれたもの)

10月30日、市教育委員会主催の戦争遺跡見学会が開催され、郷土史の愛好家など約30人が参加しました。
最初に、宮中学校そばの旧宮村国民学校防空壕(無窮洞)を訪れました。

九じろうの取材日記

郷土史体験講座
戦争遺跡見学会

児童生徒が造った防空壕

ここは、昭和18(1943)年に旧宮村国民学校の教師と児童生徒によって掘られた防空壕です。中は、数百人が収容できる大きさで、避難中に授業や生活ができるように、教壇やかまど、便所、非常口などが設けられていたという説明があり、参加者は感心しながら見学していました。

砲台跡が現在では公園に

次に、西海町の旧陸軍佐世保要塞石原岳堡壘砲台跡(写真左)へ行きました。旧佐世保鎮守府の開庁以来、佐世保には多くの海軍施設が建設されたため、これらの施設を守ることを目的に明治33(1900)年、佐世保要塞地帯が定められ、石原岳を含む7カ所に砲台が備えられました。しかし、日露戦争(明治37(1904)年)後は佐世保要塞の重要性が薄れたため、石原



岳堡壘砲台は大正9(1920)年に廃止されました。現在では公園として整備され、西海町が管理しています。佐世保へ引き返し、佐世保港を見下ろす弓張岳展望台近くの旧海軍弓張岳防空砲台跡(写真左)を見学しました。弓張岳防空砲台は昭和16(1941)年に造られ、昭和20年6月の佐世保空襲では、米軍機に向けて三百六発の砲弾が発射されました。現在は公園として整備されています。

八幡神社の焼夷弾痕が空襲の激しさを今に伝えています

見学会では、旧海軍が建てた前畑町の倉庫群などにも行きました。最後に八幡神社(八幡町)を訪れました。境内の石段や参道に残った佐世保空襲の焼夷弾痕と、空襲による火災の熱で表面がはがれた石灯籠を見学し、参加者はあらためて、空襲の激しさを感じたようでした。



八幡神社の参道に残った焼夷弾痕(円の中)

祖父と一緒に参加した港小学校3年生の久田和樹君は、「広報紙などを見ていろいろ面白いイベントに参加しています。きょうの見学地は、今まで行ったことのないところばかりで、初めて知ることが多く、参加してよかったです」と感想を話してくれました。遺跡や郷土史体験講座についてのお尋ねは、市教育委員会社会教育課(☎④1111)にどうぞ。

編集長から「一言」

佐世保の秋の風物詩になった「YOSAKOIさせば祭り」には、ことしも全国各地からたくさんの子が集まりました。楽曲や衣装など、それぞれに個性のある演舞が観客を楽しませ、踊り子を被写体にカメラを向けるわたしの手も思わずアツムをとっていました。(N)



広報させば

平成16年12月1日発行

佐世保市役所企画調整部秘書課広報係 TEL 0956-24-1111 FAX 25-2184 〒857-8585(市役所専用)長崎県佐世保市八幡町1-10 http://www.city.sasebo.nagasaki.jp 印刷/サン印刷株式会社



この「広報させば」は古紙配合率100%の再生紙と大豆油インクを使用しています。